

計画段階評価について
山陰道（三隅^{みすみ}～長門^{ながと}）
第3回 説明資料

令和4年7月27日

国土交通省 中国地方整備局

目 次

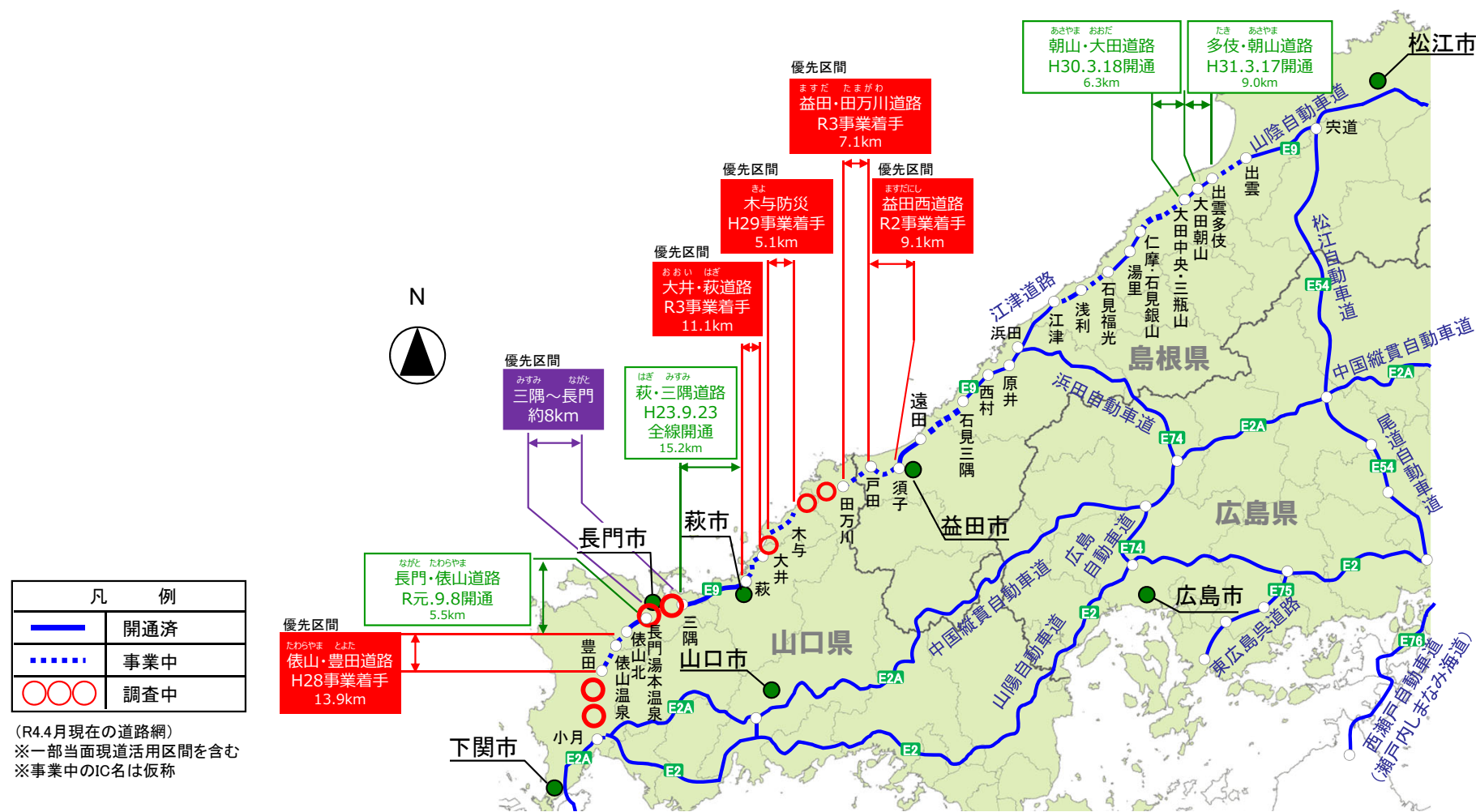
1. これまでの計画段階評価の審議内容	・ ・ ・ 2
2. 第2回意見聴取の概要	・ ・ ・ 8
3. 第2回意見聴取の結果	・ ・ ・ 12
4. 対応方針（案）の検討	・ ・ ・ 28
5. 自治体への意見照会結果	・ ・ ・ 33
6. 対応方針（案）のまとめ	・ ・ ・ 35

1. これまでの計画段階評価の審議内容

1. これまでの計画段階評価の審議内容

2) 山陰道（島根県、山口県区間）の進捗

- 島根県の朝山・大田道路はH29年度、多伎・朝山道路はH30年度に開通。山口県の長門・俵山道路はR元年度に開通。
- 須子～戸田間はR2年度に益田西道路として事業着手。戸田～田万川間はR3年度に益田・田万川道路として事業着手。
- 大井～萩間は、H31年1月に対応方針を決定し、R3年度に大井・萩道路として事業着手。
- 三隅～長門間は、R3年11月に第2回地方小委員会を開催し、R3年12月～R4年2月の期間で対策方針(案)検討時に重視する政策目標・配慮事項に関する意見聴取を実施。



1. これまでの計画段階評価の審議内容

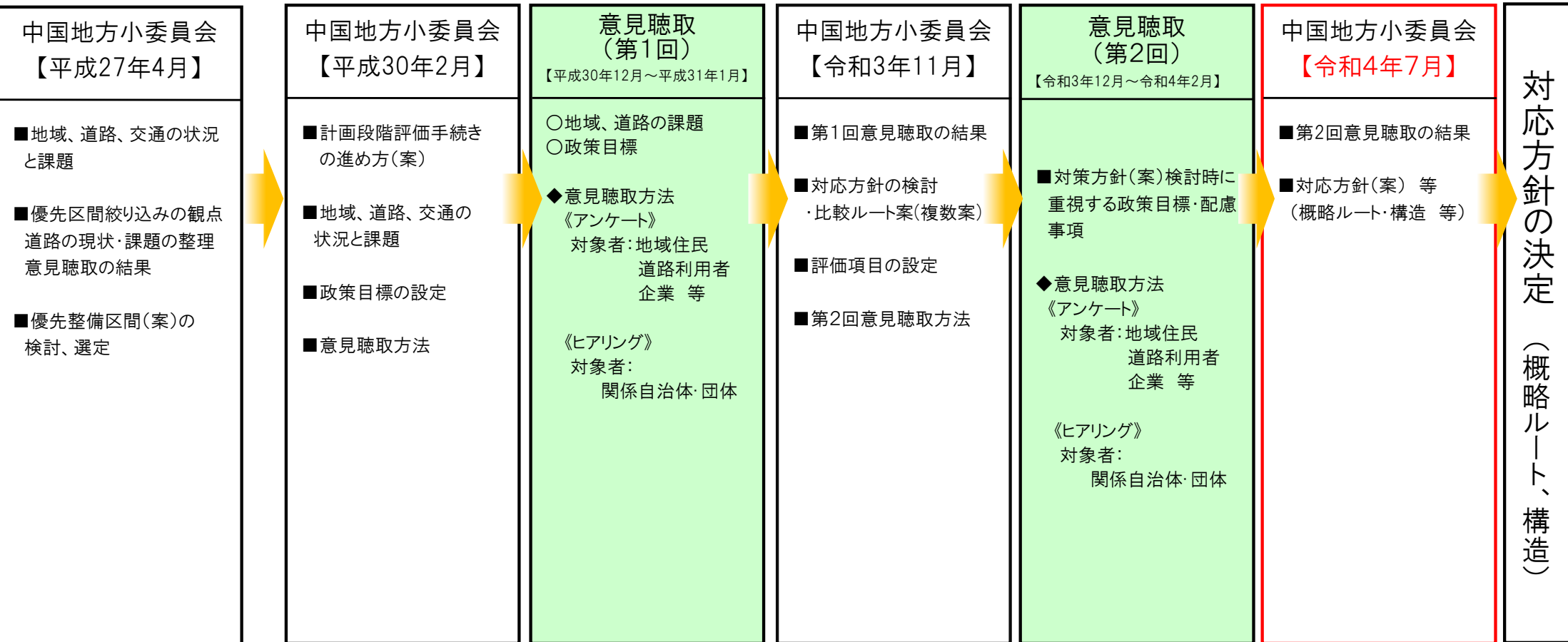
3) 計画段階評価の検討の流れ

■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。

優先区間絞り込み

(今回)



※各段階で随時自治体と調整

地 方 小 委 員 会

1. これまでの計画段階評価の審議内容

4) - 1 前回審議内容と指摘事項への対応

■令和3年度第2回社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会の概要

実施日: 令和3年11月29日(月) 開催

主な議事: ①これまでの計画段階評価の審議内容

②第1回意見聴取の概要

③第1回意見聴取の結果

④対応方針(原案)の検討

⑤第2回意見聴取方法

●前回審議における主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
・当該地域は、九州も近く、多方面からの観光需要がある。例えば観光団体にもヒアリングを行う等、ヒアリング先には工夫を。	・ヒアリング調査の対象に、広域的な観光需要を考慮した事業者を追加(P7の左参照)。
・アンケートの設問に記載のある「地域にとって望ましい」の「地域」という言葉について、定義によって回答が異なる可能性がある。「地域」の定義を明確にすること。	・アンケート調査票の質問に、地域の定義として「長門市・萩市」を追加(P7の右参照)。
・計画段階評価の検討は、2つのルート帯(案)を示し、意見聴取を行った上で対応方針を決定するプロセスとなっているため、アンケートの記載内容・表現については留意すること。	・アンケート調査票の質問に、回答の前提条件として「山陰道を整備することとなった場合に」を追加(P7の右参照)。

1. これまでの計画段階評価の審議内容

4) - 2 前回審議内容と指摘事項への対応

■対応:ヒアリング調査の対象に、広域的な観光需要を考慮した事業者を追加

■山陰道(三隅～長門)第2回ヒアリング調査箇所案一覧

分類		番号	ヒアリング先
1	自治体	1	山口県
		2	長門市
2	商工会議所	3	長門商工会議所
3	消防署	4	長門市消防本部
4	病院	5	長門総合病院
		6	医療法人生山会 たわらやま介護医療院(旧俵山病院)
		7	医療法人 生山会 斎木病院
		8	医療法人社団成蹊会 岡田病院
5	介護施設	9	老人保健施設 サンライズ21
6	農協	10	JA長門大津
		11	深川養鶏農業協同組合
7	漁協	12	山口県漁業協同組合 長門統括支店
		13	フジミツ(株)
8	主要企業	14	(株)岡村商店
		15	サンデン交通株式会社 長門分所
9	バス会社	16	防長交通株式会社 萩営業所
		17	一般社団法人山口県トラック協会
10	トラック協会	18	公益社団法人島根県トラック協会
		19	山陰福山通運(株) 長門営業所
11	運輸	20	マルケー萩貨物自動車(株) 本社
		21	(株)ムロオ 長門営業所
		22	吉部運送
		23	長門市観光コンベンション協会
13	観光	24	ながと物産合同会社(センザキッチン運営)
		25	湯本温泉旅館協同組合
		26	俵山温泉合名会社
		27	元乃隅神社
		28	湯免温泉ふれあいセンター
		29	道の駅 蜷街道西ノ市
		30	道の駅きくがわ
		31	道の駅さんさん三見
		32	株式会社読売旅行 九州予約センター
		33	第一観光株式会社

広域的観光の事業者を追加

■対応:アンケート調査票の質問に、地域の定義として長門市・萩市を追加。回答の前提条件として「山陰道を整備することとなった場合に」を追加

【 アンケート質問票 】
(回答はがきに記載してください)

提示した対策案に対して、みなさまが重視される事項についてご意見いただき、対策案決定の参考にいたします。

質問1 山陰道を整備することとなった場合に、1つのルート帯(案)を検討していますが、地域(長門市・萩市)にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？
以下の重視すべき項目①～⑬から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

文言を追加

- ① 九州・下関方面から長門・萩への広域的な物流を支えること
- ② 長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること
- ③ 九州・下関方面から長門・萩への広域的な観光周遊性に優れること
- ④ センザキッチン等の長門市の観光拠点とのアクセス性に優れること
- ⑤ 長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること
- ⑥ 事故が少なく安心して走れること
- ⑦ 災害時の救援物資輸送など、長門市街地への地域支援に有効に機能すること
- ⑧ 自然環境への影響が小さいこと
- ⑨ 地域分断などが発生せず、生活環境への影響が少ないこと
- ⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと
- ⑪ 工事中の交通規制の影響が小さいこと
- ⑫ 建設に要する費用が安いこと
- ⑬ その他(上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください)

質問2 長門市内へのアクセスを検討する際に、どのような施設・拠点等にアクセスすべきと思いますか？ご自由にお書きください。

質問3 その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方がよいと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ありがとうございました。

■回答方法 回答は、右記の返信用はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。

■締め切り 令和4年2月28日(月)まで に投函願います。

2. 第2回意見聴取の概要

2. 第2回意見聴取の概要

1) 意見聴取の方法

■調査期間

令和3年12月～令和4年2月

＜アンケート配布範囲＞

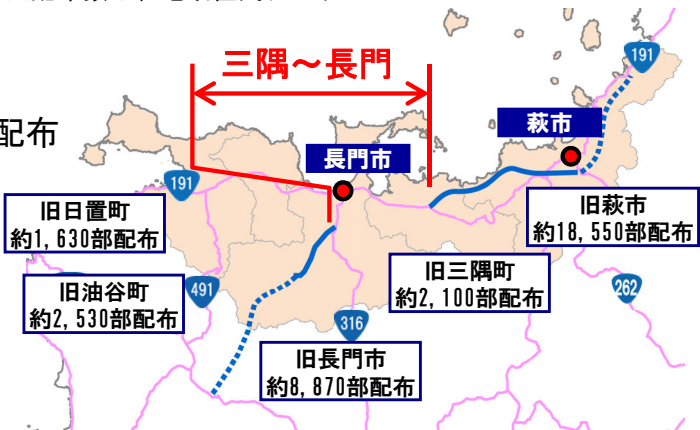
※配布数は、地域住民アンケート

■調査方法

◎アンケート:

- ①住民は全戸配布、事業所は郵送配布
- ②上記以外は市町役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置
- ③HP上でのWEBアンケート

◎ヒアリング: 郵送配布(一部WEB)方式にて実施



■対象

下表の通り

住民アンケート(全戸配布): 約33,680世帯		
長門市	旧長門市	約8,870世帯
	旧三隅町	約2,100世帯
	旧日置町	約1,630世帯
	旧油谷町	約2,530世帯
萩市	旧萩市	約18,550世帯
事業所アンケート: 約2,410社		
トラック協会加盟企業		約870社
沿線企業		約1,390社
広域利用企業		約150社
道路利用者アンケート:(常設22箇所、インタビュー調査7箇所)		
常設	道の駅	センザキッチン、蛸街道西ノ市きくがわ、さんさん三見 4箇所
	国・自治体	長門市(本庁、総合事務所3箇所)、萩市(本庁)、下関市(支所2箇所) 山口県(土木建築事務所2箇所)、国土交通省(3箇所) 13箇所
	その他	観光施設等 5箇所
道の駅等でのインタビュー調査		道の駅等 7箇所
WEB		山陰西部国道事務所HPにバナー掲載
ヒアリング: 33団体		
自治体	山口県(関係課6課)、長門市	
沿線施設	消防、病院、介護施設、観光地、商工会議所、地元企業、農協、漁協等	
その他	トラック協会、観光業等	

■質問内容

【アンケート質問票】 (回答はがきに記載してください)

提示した対策案に対して、みなさまが重視される事項についてご意見いただき、対策案決定の参考にいたします。

質問1 山陰道を整備することとなった場合に2つのルート帯(案)を検討していますが、地域(長門市・萩市)にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？
以下の重視すべき項目①～⑬から、**特に重視すべきと思われる項目**について**最大3つまで**選んでいただき、**番号とその理由や内容**をお書きください。

- ① 九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること
- ② 長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること
- ③ 九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること
- ④ センザキッチン等の長門市の観光拠点とのアクセス性に優れること
- ⑤ 長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること
- ⑥ 事故が少なく安心して走れること
- ⑦ 災害時の救援物資輸送など、長門市街地への地域支援に有効に機能すること
- ⑧ 自然環境への影響が小さいこと
- ⑨ 地域分断などが発生せず、生活環境への影響が少ないこと
- ⑩ 移転等が必要な家屋が少ないこと
- ⑪ 工事中の交通規制の影響が小さいこと
- ⑫ 建設に要する費用が安いこと
- ⑬ その他(上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください)

質問2 長門市内へのアクセスを検討する際に、どのような施設・拠点等にアクセスすべきと思いますか？ご自由にお書きください。

質問3 その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良いと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ありがとうございました。

■回答方法 回答は、右記の返信用はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。
■締め切り **令和4年2月28日(月)まで** に投函願います。

2. 第2回意見聴取の概要

2) 意見聴取の方法・対象者と回収率

調査 種別	対象者		実施期間	対象地域・団体等	配布件数	回収件数	回収率
アンケート	地域住民	長門市	令和4年1月18日(火)～令和4年2月28日(月)	長門市(旧長門市、旧三隅町、旧日置町、旧油谷町)	15,131	2,413	15.9%
		萩市	〃	萩市(旧萩市)	18,544	1,729	9.3%
		その他	〃	未記入、その他	－	31	－
		小計	－		33,675	4,173	12.4%
		WEB調査	令和3年12月15日(水)～令和4年2月28日(月)	山陰西部国道事務所のHPIにWEBアンケート掲載	－	568	－
		合計	－	－	－	4,741	－
	事業所	事業所	令和4年1月18日(火)～令和4年2月28日(月)	沿線事業所、トラック協会(鳥取県、島根県、山口県)の会員	2,412	531	22.0%
		WEB調査	令和3年12月15日(水)～令和4年2月28日(月)	山陰西部国道事務所のHPIにWEBアンケート掲載	－	47	－
		合計	－	－	－	578	－
	道路利用者	常設	令和3年12月15日(水)～令和4年2月28日(月)	道の駅、観光地、官公庁等にてアンケート票を設置(22箇所)	－	342	－
		インタビュー調査	令和4年2月11日(金)～13日(日)	道の駅センザキッチン、道の駅蛍街道西ノ市、道の駅さくがわ、道の駅おふく、湯本温泉、俵山温泉、元乃隅神社、	－	141	－
		WEB調査	令和3年12月15日(水)～令和4年2月28日(月)	山陰西部国道事務所のHPIにWEBアンケート掲載	－	454	－
		合計	－	－	－	937	－
		合計	－	－	－	－	6,256
ヒアリング	関係自治体		令和4年1月18日(火)～令和4年2月4日(金)	沿線地域の自治体	2	団体・企業	
	医療関連			消防署・病院・介護施設	6	団体・企業	
	観光関連			観光協会、観光地	11	団体・企業	
	商工関連			商工会議所	1	団体・企業	
	製造業関連			地元企業	2	団体・企業	
	物流業関連			トラック協会、物流事業者	6	団体・企業	
	農業関連			農協	2	団体・企業	
	漁業関連			漁協	1	団体・企業	
	交通関連			バス会社	2	団体・企業	
	合計		－	－	33	団体・企業	

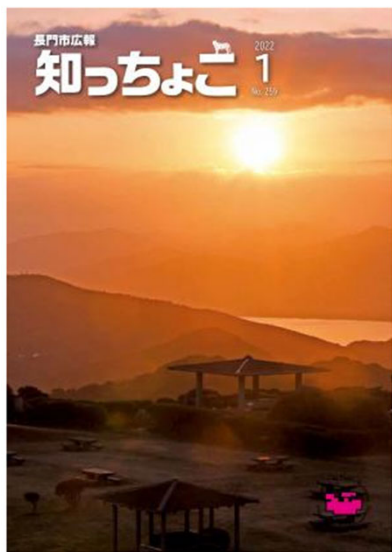
2. 第2回意見聴取の概要

3) 回収率を上げるための取組み

■新聞折込広告
(令和4年1月23日(日)朝刊に折込)



■広報誌
(広報ながと 令和4年1月号に同封)



■道路利用者アンケートの常設
(道の駅「蛸街道西ノ市」等)



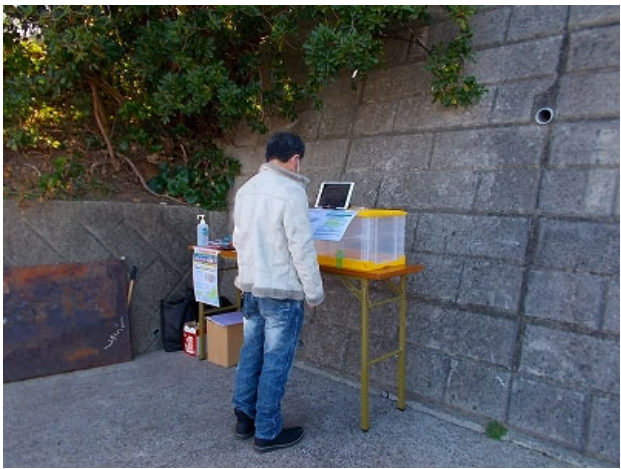
■WEBアンケート(山陰西部国道事務所HPバナー)



■ケーブルテレビ ※下記期間で放送
・長門CATV: 令和4年1月19日(水)～令和4年2月28日(月)
・萩CATV: 令和4年1月21日(金)～令和4年2月28日(月)



■道の駅等でのインタビュー調査
(令和4年2月11日(金)～令和4年2月13日(日))



※新型コロナウイルス対策として、タブレットを用いたビデオ通話によるヒアリングを実施

■長門市成人式でアンケート票を配布
(令和4年1月3日(月))



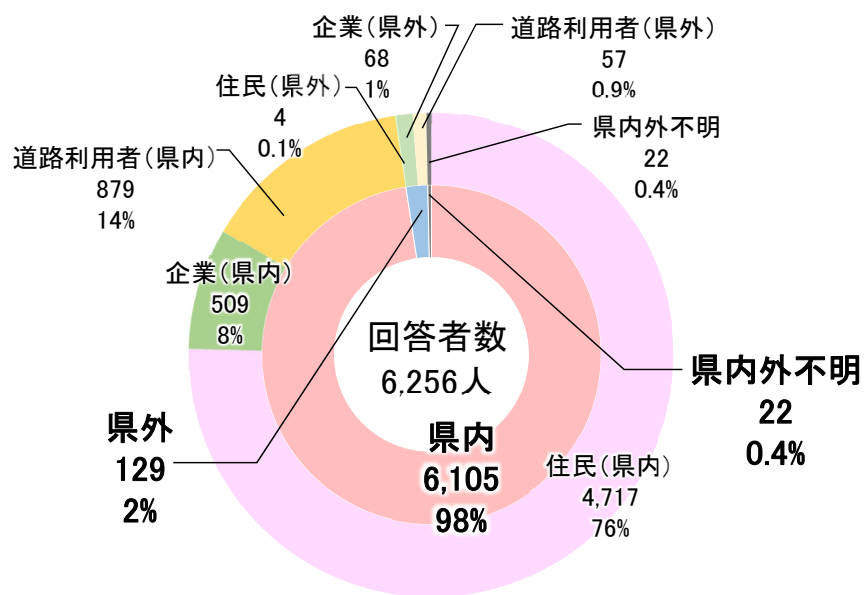
3. 第2回意見聴取の結果

3. 第2回意見聴取の結果

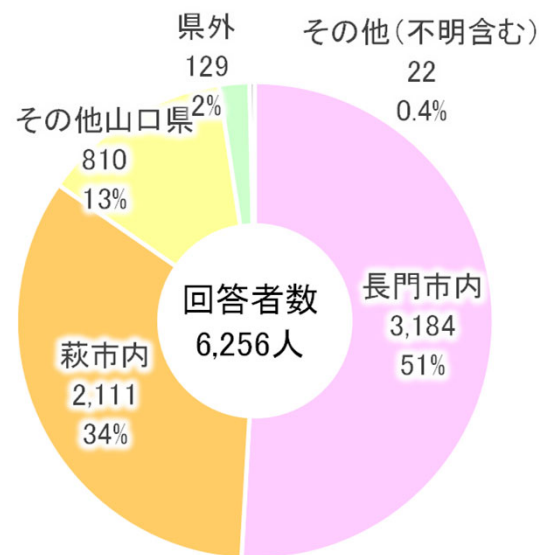
1) アンケート回答者の属性（回収概要）

- アンケート回答数は6,256人。うち住民が約8割を占め、企業及び道路利用者がそれぞれ約1割を占める。
- 長門市内、萩市内の2市で全体の約9割を占める。県外の回答者は約2%となっている。
- 年代では60代以上が全体の約6割となっている。

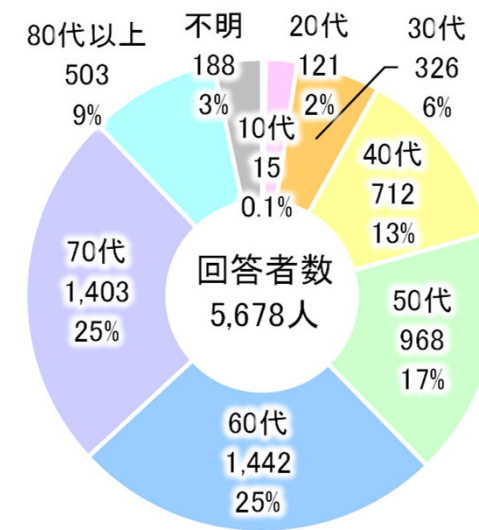
アンケート回収状況



回答者住所



回答者年代

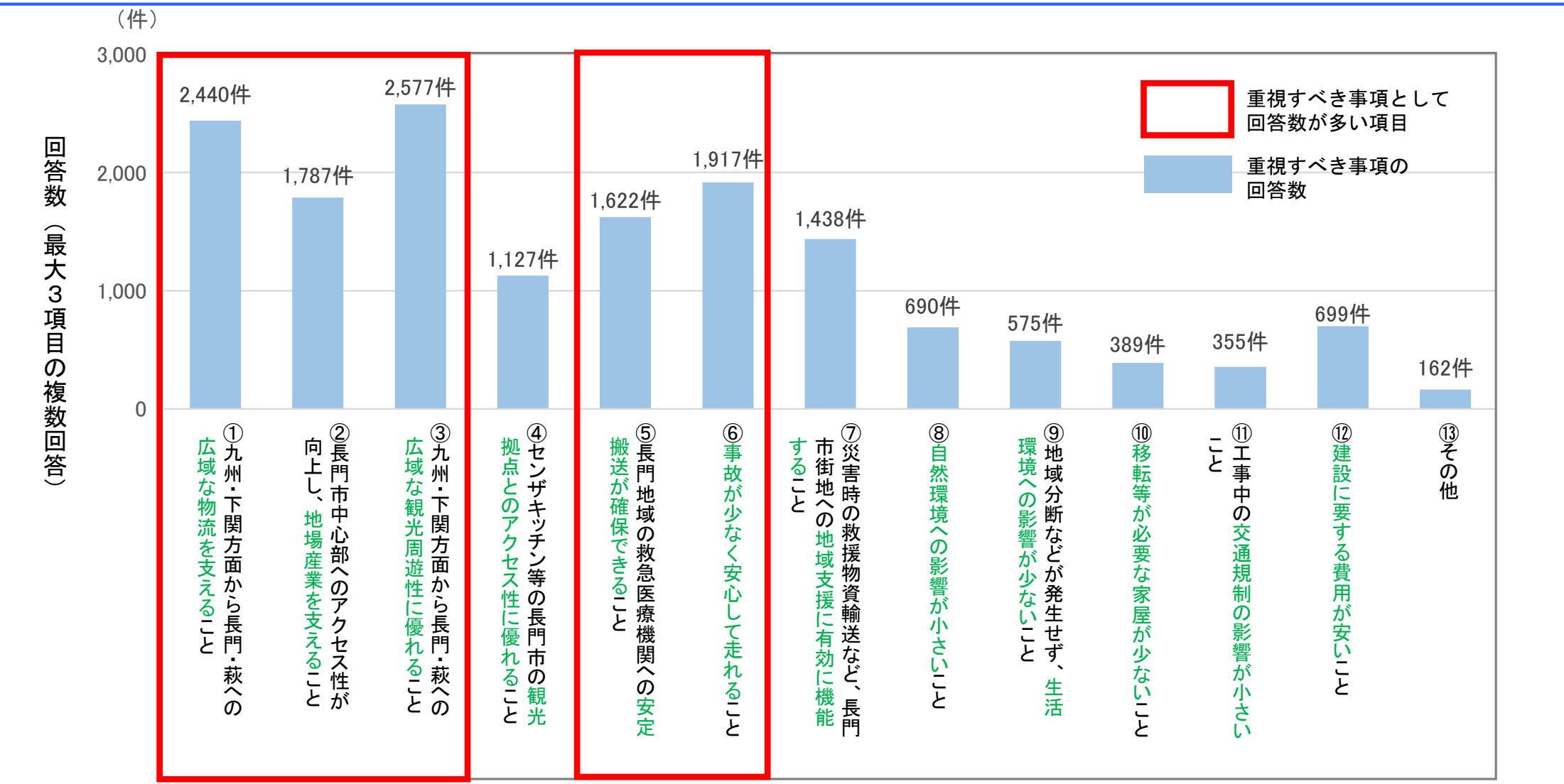


※回答者数6,256人は住民アンケート、事業所アンケート、道路利用者アンケートの合計。回答者年代は事業所を除く。

3. 第2回意見聴取の結果

2) 質問1「ルート帯検討時に重視すべき事項」(項目別回答数)

○「望ましい案を考える際に重視すべきと思われる項目(最大3項目)」に関して、「③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること」が最も多く、次いで「①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること」「⑥事故が少なく安心して走れること」「②長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること」「⑤長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること」という声が多い。

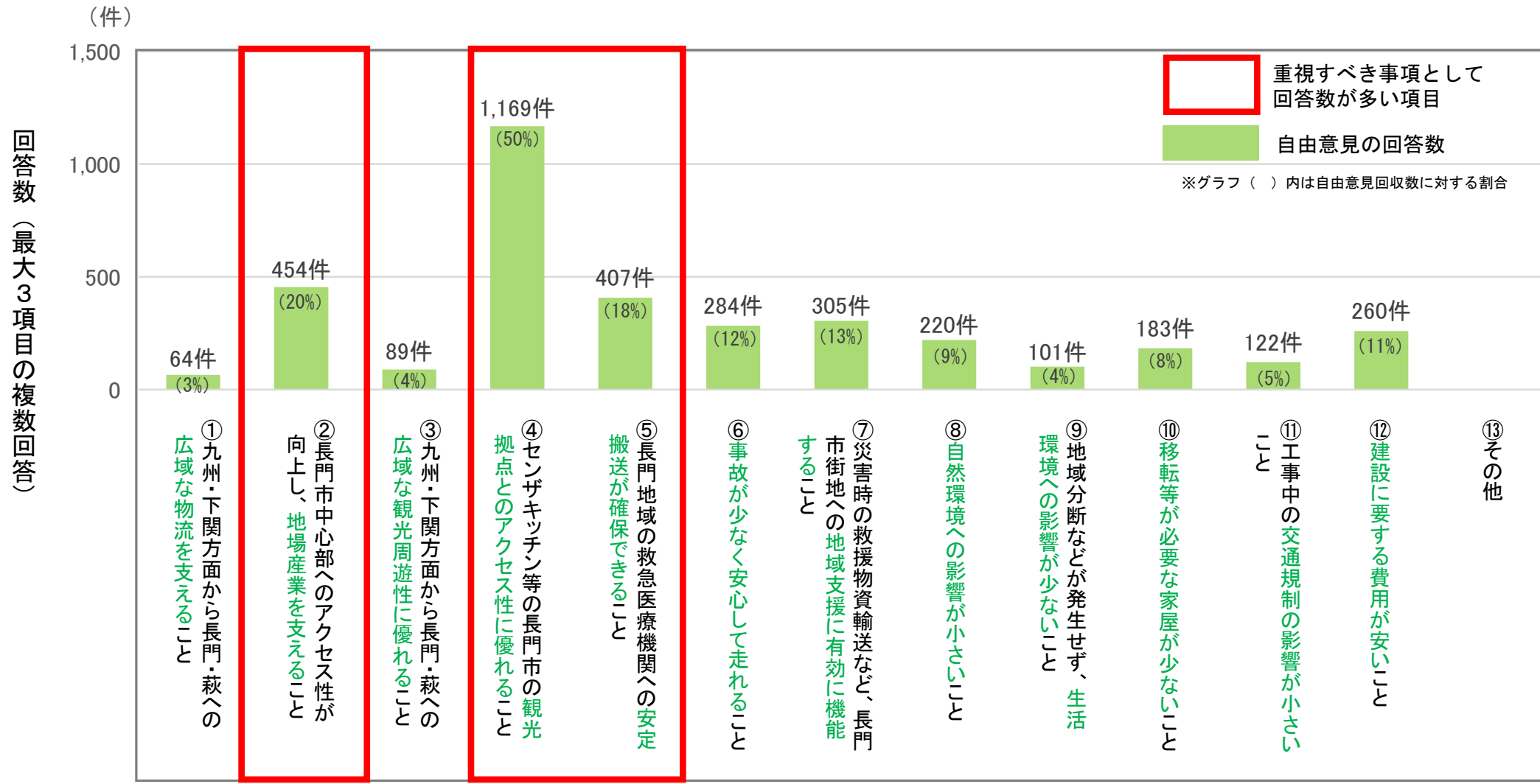


※意見数 (アンケート回答者数6,256人の内、質問1の回収者数5,722人/延べ合計意見数15,778件:1人あたり最大意見数3件の回答であるため5,722人と一致しない)

3. 第2回意見聴取の結果

2) 質問1「ルート帯検討時に重視すべき事項」(項目別回答数: 自由意見のみ)

○「望ましい案を考える際に重視すべきと思われる項目(最大3項目)」に関して、「④センザキッチン等の長門市の観光拠点とのアクセス性に優れること」が最も多く、次いで「②長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること」「⑤長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること」という声が多い。



※意見数(アンケート回答者数6,256人の内、質問1の自由意見回収者数2,318人/延べ合計意見数3,658件 ※⑬その他に対する自由意見除く)

3. 第2回意見聴取の結果

3) 質問1「ルート帯検討時に重視すべき事項」(自由意見①)

○重視すべき事項として回答数が多い項目について、住民や道路利用者、企業から様々な意見が寄せられている。

項目		回答者属性	主な意見
①	九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること	住民/長門市(旧油谷町)/男性/70代	九州、下関から長門への物流は長年の念願であったが、過疎化が進み、遅きに失した。最重点で早期完成を望む。
		企業/山口県内(その他)/運輸業	九州方面への時間短縮により、物流拡大が望める。
②	長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること	住民/長門市(旧長門市)/男性/60代	長門へのアクセスが向上し、地場産業や新規誘致による可能性を元に、若者の定住を少しでも増やしてほしい。
		住民/長門市(旧三隅町)/女性/80歳以上	長門市中心部のアクセス性がまだまだかけている気がする。
③	九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること	住民/長門市(旧長門市)/女性/50代	走りやすい道路で度々日帰りでも観光に来てもらい地域が盛り上がるように。
		企業/長門市(旧長門市)/製造業	山陰道の最大の目的はこれだと思います。素晴らしい観光地に人が集まる事で、地域も活性化されます。
④	センザキッチン等の長門市の観光拠点とのアクセス性に優れること	住民/長門市(旧長門市)/男性/70代	長門市は観光事業がまだまだ遅れていると思う。金子みすゞ記念館とかセンザキッチン等のアクセスを良くすることになると思う。
		住民/萩市/女性/40代	アクセスが向上することで、観光する数や時間が増やせると思うから
		道路利用者/下関市/男性/40代	長門市観光拠点へのアクセス性が観光客増加につながると考えるため。
⑤	長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること	住民/長門市(旧油谷町)/男性/70代	長門地域の救急医療機関へ安定搬送が確保できる。
		道路利用者/長門市(旧長門市)/女性/30代	長門は高度な医療機関がないため、万が一に備えて緊急搬送がスムーズにできるようにしてほしい。
⑥	事故が少なく安心して走れること	企業/長門市(旧長門市)/建設業	当社は、ハウスメーカーの仕事をしており、萩・山口・宇部と広範囲なので事故等、安全に走りたい。
		道路利用者/萩市/女性/50代	交通安全の確保。バイパス整備により、通過交通が転換される。
⑦	災害時の救援物資輸送など、長門市街地への地域支援に有効に機能すること	住民/長門市(旧長門市)/女性/50代	災害時、1本しかない道路が通行できなくなると(遠回りで)、時間のロスが大きいから。特にH22、7の大雨後不便だった。
		企業/山口県内(その他)/卸・小売業	災害時、孤立する集落がないように機能するものであるべき。

重視すべき事項として回答数が多い項目

※アンケート回答者数6,256人の内、質問1のカテゴリー回答者数5,722人の主な意見

3. 第2回意見聴取の結果

3) 質問1「ルート帯検討時に重視すべき事項」(自由意見②)

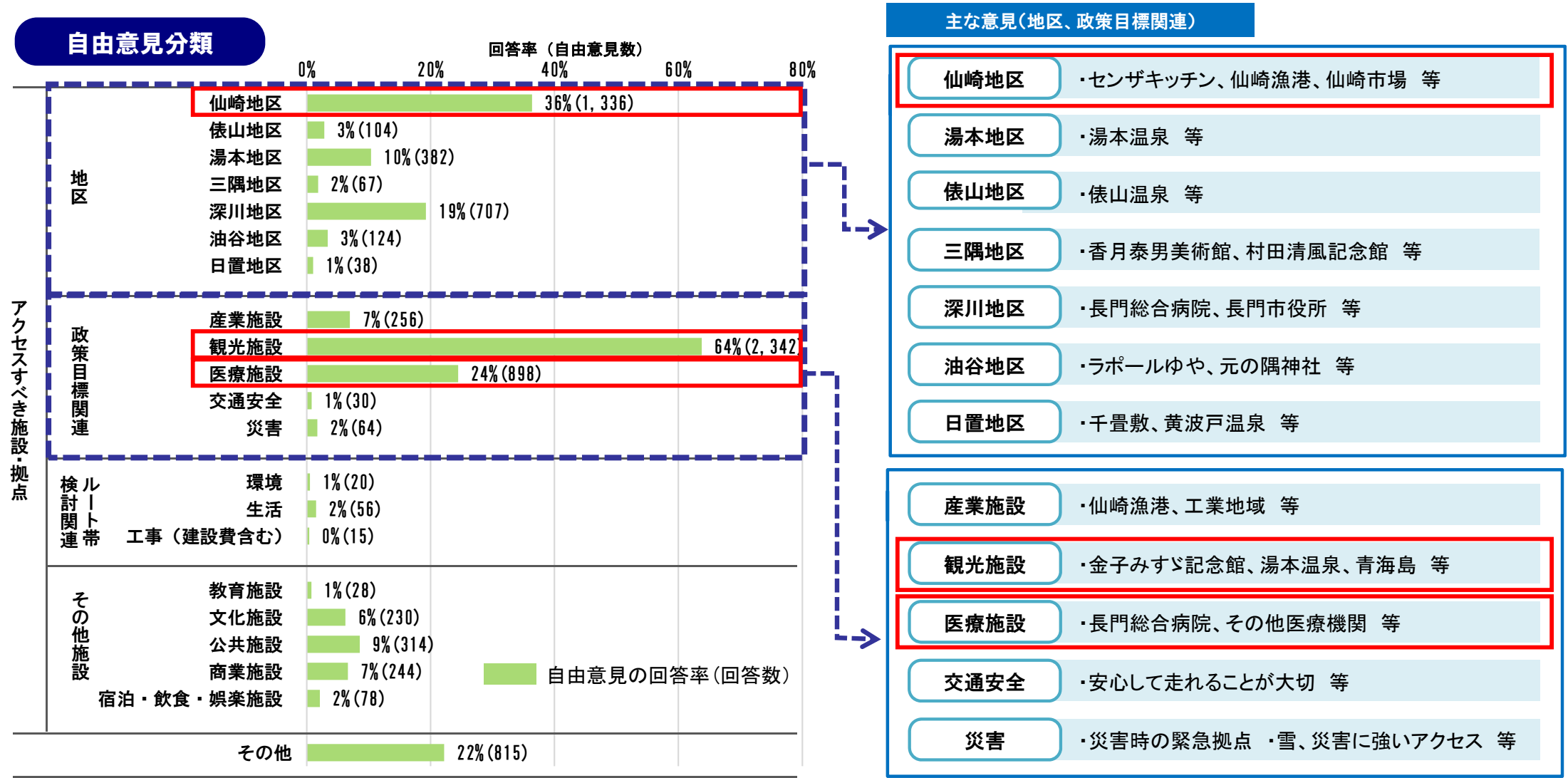
項目		回答者属性	主な意見	
⑧	自然環境への影響が小さいこと	住民/長門市(旧長門市)/女性/20代	豊かな自然というものは、それ自体が地域の財産であると考える。 利便性か、環境の保護か、といった二元論でなく両者の落としどころを探ってゆくべき。 植樹も良いのではないかとも思うが、その場合、元々この地域に生えている木を植えないと、かえって環境に負荷がかかるので慎重さが必要。	
		住民/長門市(旧長門市)/女性/40代	長門市の最も素晴らしいと言われることは、温泉だけでなく緑と青が豊富！！ 自然の豊かさを感じに訪れて下さる方が多い。 人工的ではなく、今昔の自然環境の大切さを忘れないで欲しい。	
⑨	地域分断などが発生せず、生活環境への影響が少ないこと	住民/萩市/女性/30代	地域分断などで住みづらさ、不便さがあると、そこに住み続けられないなど人口減少につながる と思います。	
		住民/萩市/男性/50代	文化交流の観点から今後は 地域の分断を抑えることが必要。	
⑩	移転等が必要な家屋が少ないこと	住民/萩市/男性/40代	早期開通 を考えると、 移転する家屋が少ない方が早い と思うので。	
		道路利用者/長門市(旧三隅町)/男性/60代	移転が多いと 交渉の難航等が考えられ計画の進行がさらに遅れる ことが考えられる。	
⑪	工事中の交通規制の影響が小さいこと	住民/長門市(旧油谷町)/男性/20代	渋滞の回避 を考えてほしい。	
		企業/山口県内(その他)/運輸業	日中の時間指定の配送であるため 夜間作業をお願いしたい。	
⑫	建設に要する費用が安いこと	住民/長門市(旧長門市)/男性/60代	次の世代の人に、少しでも負担が掛からないように。	
		住民/下関市/男性/60代	建設と維持費が安いこと。	
⑬	その他 (上記以外で重視すべき項目)	長門市外(九州・下関・山陰他市等)との広域アクセス	住民/萩市/女性/60代	九州に行く時、 高速が出来る迄は依山、豊田町経由だったが何せ、遠いので… こちらでも速くなるとうれしい。
			住民/長門市(旧長門市)/女性/40代	山陽側や九州にアクセス しやすければ、長門萩が定住の選択肢になる。
		ルート帯に関する意見	住民/長門市(旧油谷町)/男性/60代	基本は最短で整備 し、長門市中心部へのアクセスは支線として整備することと考える。
			道路利用者/山口県内(その他)/男性/60代	山陰道全体 を通して考えれば移動時間の短縮を考えれば 最短ルートが良い。
		関連道路の整備	住民/長門市(旧長門市)/男性/70代	市街地へのアクセス地点には交通量が増加してかえって不便になる事も予想されます。 インターと接続する道路の整備、及びインターの分散が必要？。
			住民/長門市(旧三隅町)/男性/80歳以上	現在でも優劣が激化し全体の発展が望めないので 関係道路を必ず整備する必要あり。
		否定的意見	住民/萩市/男性/50代	自然災害は比較的少ない地域で。現在の道路網を見ると、迂回路も整備されていると思うので 必要性がない。
			道路利用者/山口県内(その他)/男性/50代	この道路がどこまで必要ですか? 物流や地域活性が倍増するとは思えません。
その他		住民/長門市(旧長門市)/男性/80歳以上	長門市一依山一豊田一小月、早期道路開通を要望します。	
		住民/萩市/男性/70代	カーブの少ない道路に仕上げて下さい。	

3. 第2回意見聴取の結果

4) 質問2「アクセスすべき施設・拠点」 (総括)

○「長門市内へのアクセスを検討する際に、どのような施設・拠点等にアクセスすべきか」という質問に対して、地区では「仙崎地区」についての意見が多く寄せられており、政策目標関連では「観光施設」「医療施設」についての意見が多く寄せられている。

質問2 長門市内へのアクセスを検討する際に、どのような施設・拠点等にアクセスすべきと思いますか？ご自由にお書きください。



※アンケート回答者数6,256人の内、質問2の回答者数3,673人に対する割合／延べ合計意見数8,148件：自由意見数は複数意見であるため3,673人と一致しない

3. 第2回意見聴取の結果

4) 質問2「アクセスすべき施設・拠点」(自由意見)

○地区(特に仙崎地区)、観光施設(特にセンザキッチン関係)に関する自由意見が多くなっている。

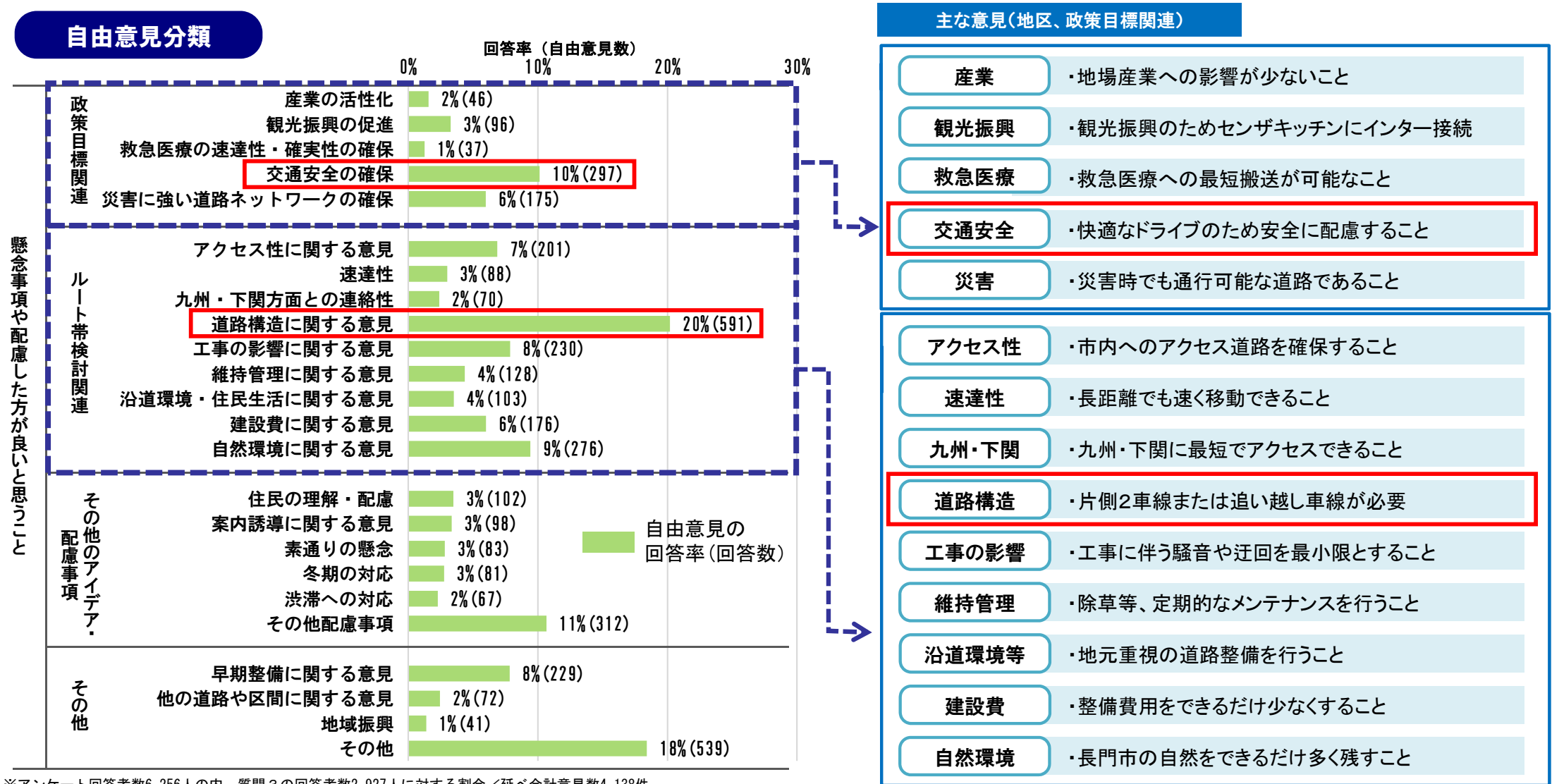
項目		自由 意見数	代表的な施設・拠点の キーワード	回答者属性	主な意見
地区	仙崎地区	1,336	仙崎地区	道路利用者/山口県内(その他)/男性/50代	仙崎地区へのアクセス。
				住民/長門市(旧三隅町)/男性/70代	センザキッチン等の観光拠点。
	俵山地区	104	俵山地区	住民/長門市(旧日置町)/女性/80歳以上	湯本、俵山、センザキッチン
	湯本地区	382	湯本地区	企業/萩市/製造業	湯本地区
	三隅地区	67	三隅地区	企業/長門市(旧長門市)/卸・小売業	三隅地区
	深川地区	707	深川地区	道路利用者/長門市(旧日置町)/男性/50代	深川地区、仙崎地区へのアクセス。
			中心市街地	住民/長門市(旧長門市)/男性/70代	長門市中心部(警察署)に近く、国道191号線、国道316号線に近い場所にI. C. をつくる。
	油谷地区	124	油谷地区	道路利用者/長門市(旧油谷町)/女性/50代	油谷は市内から一番離れているので、交通を便利にしてほしい。空港や新幹線へのアクセス不便。
政策目標 関係	産業	256	仙崎漁港・仙崎市場	道路利用者/山口県内(その他)/男性/50代	仙崎漁港
				住民/萩市/女性/40代	センザキッチン・仙崎漁港
			産業その他	住民/長門市(旧三隅町)/男性/50代	地域工場、産業
	観光	2,342	センザキッチン	道路利用者/下関市/女性/40代	センザキッチン
			湯本温泉	住民/長門市(旧長門市)/男性/60代	仙崎(センザキッチン)、湯本温泉へのアクセス可能な道路。
			青海島	道路利用者/山口県以外/男性/40代	観光、青海島
			観光その他	道路利用者/山口県以外/男性/30代	長門市であれば、元の隅神社、千畳敷などの観光資源。
	医療	898	長門総合病院	住民/長門市(旧長門市)/男性/60代	長門総合病院等の医療機関へのアクセス向上。
			その他医療施設	住民/長門市(旧長門市)/女性/60代	地場産業、観光地、医療機関等。
	交通安全	30	交通安全	住民/長門市(旧油谷町)/男性/70代	事故が少なく安心して走れることが大切である。
ルート帯 検討	災害	64	災害	企業/萩市/卸・小売業	重要な機関(病院や避難場所等)行き易くなると良い。物資の輸送が滞らないよう、天候にも適した道路。
	環境	20	環境	住民/長門市(旧長門市)/男性/70代	環境への配慮が第一。
	生活	56	生活	住民/長門市(旧長門市)/男性/60代	日常的な生活に便利な施設や拠点へのアクセスと同時に、観光施設へのアクセスを重視すべき。
その他 施設	工事	15	工事(建設費含む)	住民/長門市(旧長門市)/女性/60代	現在の三隅インターと湯本インターで十分です。効果が少ないアクセスで多額の工事費を使わない方が良 いです。
	教育施設	28	教育施設	住民/萩市/男性/60代	長門総合病院、長門市役所、大津緑洋・長門高校にアクセスしやすくするべきだと思う。
	文化施設	230	文化施設	住民/萩市/女性/30代	ルネッサ長門 長門病院 湯本温泉
	公共施設	314	公共施設	住民/長門市(旧長門市)/女性/50代	病院、市役所、災害時避難所
	商業施設	244	商業施設	道路利用者/長門市(旧油谷町)/女性/70代	大型商業施設へ短時間で移動出来る。
その他	宿泊・飲食・ 娯楽施設	78	宿泊・飲食・娯楽施設	企業/長門市(旧長門市)/卸・小売業	ホテル等宿泊施設と飲食店。
	その他	815	－	住民/萩市/男性/70代	アクセスより早期の実現を。

3. 第2回意見聴取の結果

5) 質問3「道路整備における懸念事項や配慮事項」(総括)

○「懸念事項や配慮した方が良いと思うこと」という質問に対して、政策目標関連では「交通安全の確保」についての意見が多く寄せられており、ルート帯検討関連では「道路構造」についての意見が多く寄せられている。

質問3 その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良いと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。



※アンケート回答者数6,256人の内、質問3の回答者数2,927人に対する割合／延べ合計意見数4,138件
：自由意見数は複数意見であるため2,927人と一致しない

3. 第2回意見聴取の結果

5) 質問3「道路整備における懸念事項や配慮事項」(自由意見①)

○政策目標関連では「交通安全の確保」、ルート帯検討に関しては「道路構造に関する意見」が多くなっている。

区分	種別	自由 意見数	回答者属性	主な意見
政策目標 関連 (651)	産業の活性化	46	道路利用者/長門/女性/30代	できれば自然環境や地場産業（果樹園、農地など）への影響が少ないと良い。
	観光振興の促進	96	道路利用者/山口県以外/男性/30代	地元の萩市、長門市がとにかく魅力ある観光振興をまずはすべき。センザキッチンへの中間インターはしっかりつなげてもらうのは当たり前であるが、地域の発展のためにどう山陰道が使われるかは、しっかり自治体が考えることである。
	救急医療の速達性・ 確実性の確保	37	住民/長門市(旧三隅町)/男性/70代	長門地域への救急医療への最短搬送が出来る様に望む。
	交通安全の確保	297	道路利用者/長門/女性/70代	道路が整備されるとスピードを出しすぎて、交通事故が増える事が懸念される。
			住民/長門市(旧三隅町)/男性/60代	追い越し部分、休憩場所など快適なドライブ、安全性に配慮をお願いします。
	災害に強い道路ネッ トワークの確保	175	企業/長門市(旧日置町)/建設業	強度の高い道路を建設し災害時にも通行可能の状態になってほしい。
住民/長門市(旧長門市)/男性/70代			コストUPになるかも知れませんがトンネル等災害に強い路線にして頂きたい。	
ルート帯 検討 (1863)	アクセス性に関する 意見	201	道路利用者/長門市(旧長門市)/男性/80歳以上	何が起ころうとおかしくないご時世なのでアクセスの向上に資する手段は出来るだけ確保しておきたい。
			住民/萩市/男性/60代	できるだけ直接時間のかからないように市外でもよい。市内へはアクセス道路をしっかり作ってほしい。
	速達性	88	住民/萩市/男性/40代	長い距離を早く移動できる道に欲しい。
	九州・下関方面との 連絡性	70	住民/長門市(旧三隅町)/女性/50代	山陽・九州方面への最短距離(時間も)アクセスを望んでいます。早期にできあがると思います(最短だと)。
	道路構造に関する 意見	591	道路利用者/山口/女性/40代	片側2車線または追い越し車線をたくさんとってほしい。
			住民/山口県内(その他)/性別不明/年齢不明	基本的に直線道路を多くする。路上の水捌けを考慮して効率の良い排水(溝)を設置。走行しやすいよう高低差のない道路を作る。
	工事の影響・事業期 間に関する意見	230	住民/長門市(旧日置町)/男性/20代	工事による騒音や通行止め等での迂回をできる限り最小限に押さえてほしいです。
			企業/萩市/運輸業	交通量の少ない、夜に作業してほしい。
	維持管理に関する 意見	128	道路利用者/長門/女性/40代	道路が完成しても何年か経つと、草や木の枝で見苦しい感じになるので、定期的にメンテナンスが必要。観光地にするならその方が良いと思う。
	沿道環境・住民生活 に関する意見	103	住民/長門市(旧長門市)/女性/60代	他からの車が多くなり、地域の人々の生活が無視されるような整備はしないでほしい。あくまでも地元重視の道路を作 ってほしいです。
建設費に関する 意見	176	住民/長門市(旧長門市)/男性/70代	費用は安いに越したことはないが、費用を抑えることで（最短ルート）長門市中心部が取り残されてはならない。	
		(住民/萩市/男性/30代	予算をできるだけ少なくしてほしい。	
自然環境に関する 意見	276	住民/長門市(旧三隅町)/男性/40代	整備開発による自然環境への影響が気になります。	
		住民/長門市(旧長門市)/男性/50代	出来れば、長門市の自然を多く残して欲しい。立ち退きが少ないルートが望ましい(引越しや費用も含めて)、都合の良い お願いばかりですが期待しております。何卒宜敷く御願ひ申し上げます。	

※ 表中の()はキーワードを含む意見数(アンケート回答者数6,256件の内、質問3の回答者数2,927人/合計意見数4,138件:自由意見数は複数意見であるため2,927人と一致しない)

3. 第2回意見聴取の結果

5) 質問3「道路整備における懸念事項や配慮事項」(自由意見②)

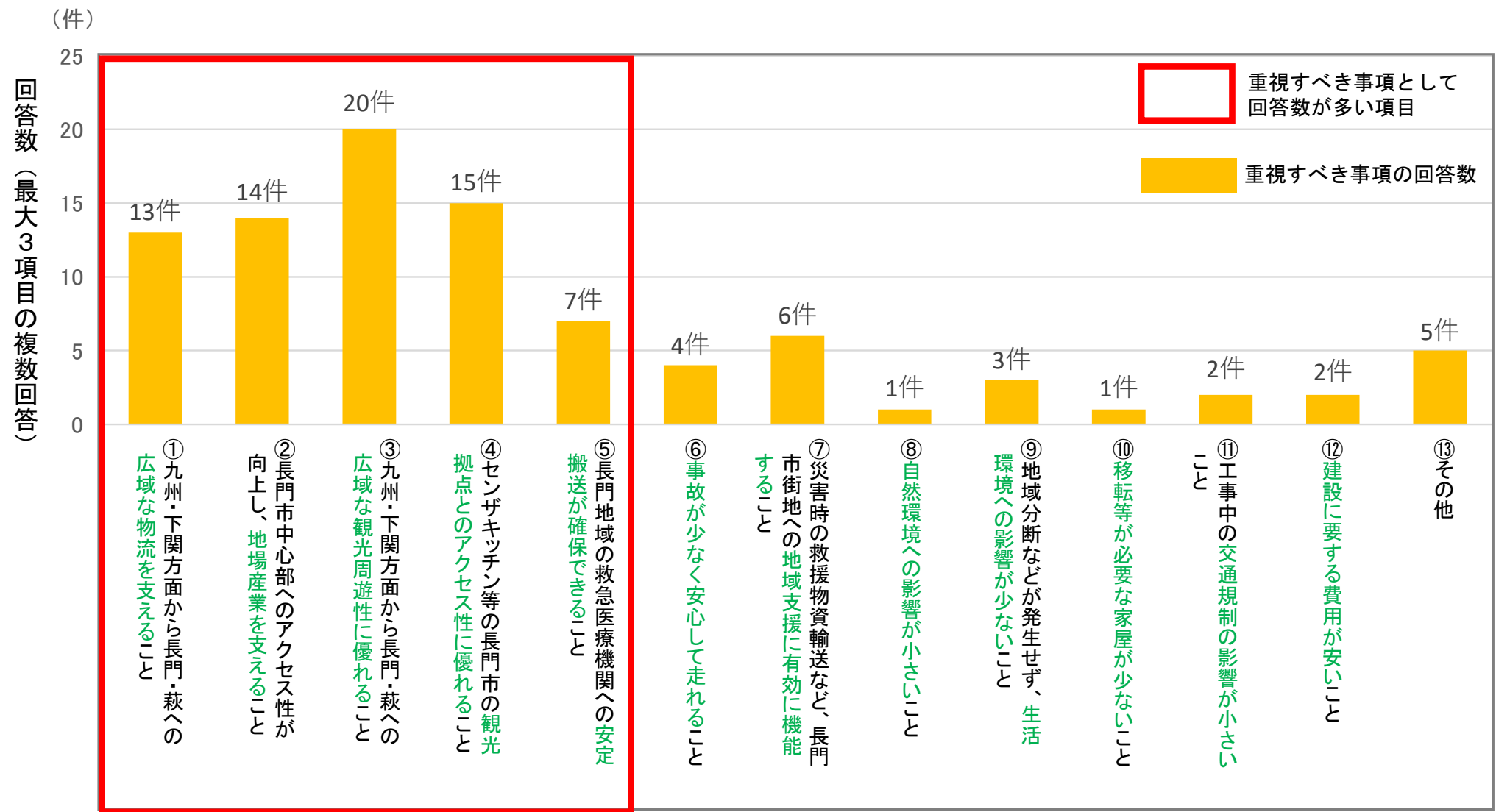
○その他のアイデア・配慮事項では「住民の理解・配慮」、その他では「早期整備」に関する自由意見が多くなっている。

区分	種別	自由 意見数	回答者属性	主な意見
その他の アイデ ア・配 慮 事項 (743)	住民の理解・配慮	102	住民/長門市(旧長門市)/女性/40代	道路周辺の住民への配慮。 道路工事により、渋滞等起きないような配慮。
	案内誘導に関する意見	98	道路利用者/山口県内(その他)/女性/50代	インター下車前に、近郊の 人気観光地の標識を分かりやすく 表示看板を設定と出入口であるインターが多め。
	素通りの懸念	83	道路利用者/長門市(旧長門市)/男性/20代	バイパス的な道路の整備に伴い、 街が素通りされて寂れる ケースが多いので、地域の活性化に十分配慮して整備することが大事。長門市が寂れる結果になることを懸念する。
	冬期の対応	81	住民/萩市/男性/40代	高い場所や橋を作る際は、 冬場の凍結 も考慮しなければならない。
	渋滞への対応	67	企業/山口県以外/建設業	現国道の交通量を分散 させる道路整備が良い。
	高齢者への配慮	73	住民/長門市(旧日置町)/男性/60代	ユニバーサルの整備 高齢者運転手にも優しい道路 、案内標示、逆走にならないルート。
	休憩施設に関する意見	64	道路利用者/山口県内(その他)/男性/50代	無料の道路ではあるが、 S AやP Aをもっと整備 してほしい。。
	歩行者・自転車への対応	62	企業/下関市/飲食・宿泊・サービス業	歩行者、自転車、二輪車等の交通弱者への配慮 が必要。
	景観への配慮・活用	43	住民/萩市/女性/60代	海が見えるような配慮 が必要と思う。
	強風の対応	32	住民/長門市(旧長門市)/女性/30代	普段から風の強い場所なので、自動車動でも 強風等で止まること が多い 通路にならない ことを願います。
	道路整備の必要性	20	道路利用者/長門/男性/50代	下関一萩・長門一益田～松江・鳥取の早期の 幹線整備が必要 と思う。
その他 (881)	通行料金	18	住民/長門市(旧長門市)/男性/60代	⑫番の建設に関する費用にも関連するが、現在、萩ー三隅道路及び俵山道路は無料であるが、 100円～200円(普通車)程度の有料とすれば経費及び修繕費に幾等かでも貢献し 、一般道との住み分けでもできると考えます。
	早期整備に関する意見	229	住民/萩市/女性/40代	同じ作るなら早く決定して作ってほしい 。便利にするのに早いにこしたことはないと思います。
			住民/萩市/女性/40代	早期完成 。毎年少しずつではなく、期限を設けて 早く開通することを望みます 。
	他の道路や区間に関する意見	72	道路利用者/長門市(旧油谷町)/男性/50代	とにかく、 俵山～西市間の道路工事を最優先 して欲しい。その後でいいんじゃないか。
	地域振興	41	住民/長門市(旧油谷町)/男性/80歳以上	地域の発展 になれば大賛成です。
	否定的意見	61	住民/長門市(旧三隅町)/女性/60代	500億円をかけても 必要な道路かどうか 。新しい道路が出来るとますます過疎化するように思う。
その他		334	企業/萩市/製造業	実現されるのであれば、 特にありません 。
			住民/長門市(旧三隅町)/女性/70代	アンケートしたことがどう活かされているか 、我々にわかるように伝えていただき、完成したことがムダにならないような費用を使っていたきたいです。

3. 第2回意見聴取の結果

6) 関係機関ヒアリング結果（質問1：ルート帯検討時に特に重視すべき項目）

○「ルート帯検討時に特に重視すべき項目」に関して、「③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れること」がもっとも多く、次いで「④センザキッチン等の観光拠点とのアクセス性に優れること」「②長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業をささえること」「①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支えること」「⑤長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること」に関する自由意見が多くなっている。



※回答数（回答者数33人／延べ合計意見数93件：1人あたり最大意見数3件の回答であるため33人と一致しない）

3. 第2回意見聴取の結果

6) 関係機関ヒアリング結果（ルート帯検討時に特に重視すべき項目：自由意見①）

分野	分類	主な意見
広域物流	萩市/運送会社	・仙崎漁港下関・福岡方面から島根県まで山陰道を通るルートで、いくつかの仕事を受け持っているが、 高速道路が直結していないこともあって、業務拡大をためらってしまう 。昨今のトラックは、運行するのに燃料代などトラック自体の必要経費がかかるほか、長距離運行による人件費・労務時間など問題が山積みしているからである。このコロナ禍においても、物流業界では荷物の取扱量が減ることはなく、むしろ忙しい運送業もあるくらいである。世間からは「エッセンシャルワーカー」と揶揄されているが、来る2024年問題（2024年4月1日以降、物流業界における時間外労働の上限規制によって発生する問題の総称）が喫緊の課題である。 早急に山陰道を整備して頂き 、労務環境はもちろん、山陰の物流業界に少しでも明るい未来が来ればと切実に願う。
	長門市/運送会社	・九州・下関方面から長門・萩への物流も重要ですが、 萩・長門で生産された商品を下関・九州へ発送することに道路を利用したいので、中間ICが望ましい 。
	長門市/農業団体	・市役所や長門の主だった企業は、国道191号沿いから沿岸部にかけて集中しており、 中間ICが無いとそれらのアクセスが不便 となる。
地場産業	長門市/運送会社	・長門へのアクセス性が向上し、他の市町村からの通勤の利便性が良くなることで、 人手不足の解消につなげたい 。
	長門市/観光業	・経済に次ぐ 観光は主要産業である地場産業と連携が必要 。
	長門市/観光団体	・ 中間ICを設置することにより、観光面、地場産業も全て支えることが出来る のではないのでしょうか。
観光周遊	萩市/運送会社	・交通網の玄関は新幹線・空港があることから山陽側であることは明白である。 山陰側は観光地が点在していることから、一つ一つにアクセスすることに時間を要する 。ついでに感覚で寄れる要素というのは、観光において非常に重要で、 山陰道の拡充により玄関からの人流を作れるようになるのではないか 。ただ、元乃隅神社の例の様にあまりにも観光客が集まり過ぎて、そこに居住する地域住民の生活を狂わせるような事態は避けて頂きたい。 ・萩IC～三隅ICのような70km/hの自動車専用道路を設けて頂ければ、地域住民・物流業者・観光客にもメリットが出てくるように思える。
	長門市/観光施設	・長門市は5つの温泉地を持ち、元乃隅神社や千畳敷、青海島、金子みすゞ記念館、香月康男美術館、センザキッチンなどによる 観光の街づくりも進行中 です。 それらの観光地へのアクセスが良くなるのが必須の条件 だと思います。周辺他市（下関、美祢、萩）も観光に力を入れる中で、長門市が通過点になることは避けたいところです。そのため、 仙崎インターチェンジの設置は必要不可欠 だと思います。 市内の観光地へのアクセスが良くなり、容易に長門市に立ち寄ることが出来る山陰道を望みます 。
	トラック協会	・観光拠点として 観光客誘致、地域観光発展の為に重要 であると考えます。
	長門市/観光団体	・長門市観光基本計画における宿泊に繋がる観光誘致の観点から、県外客、特にターゲットである九州圏旅行客に対して、目的地までのスムーズな誘導により、 利便性・快適性を向上させる取組が重要 であると考える。
	福岡市/観光業	・旅行代金の中で大きな割合を占め、 走行距離と時間によって変動する貸切バス料金を抑えるために、効率よく工程作成が行える 。
観光拠点アクセス	長門市/観光施設	・ 山陰道の開通により、市外、県外のお客様の増加には大きな期待を寄せている ところです。本来、道の駅は、幹線道路添いであって、ドライバーの休憩場所としての目的を持っています。しかしながら、センザキッチンは道の駅と言いながら、幹線道路（国道191号）から2km程度離れた場所にあるため、たまたま通りかかったドライバーが立ち寄るケースは少ないと思われます。ドライバーにも立ち寄りを促すためにも、 山陰道はセンザキッチンに近く、利便性の高いインターチェンジの設置も熱望 するところです。
	長門市/医療施設	・センザキッチンに来る観光客は、ほぼ市外の方で、特に他県ナンバーの車が少ない。（三隅～長門）間の整備において、萩市側から、また、将来、小月～俵山間が完成後、県内・他県からセンザキッチンを訪れる場合、 アクセスが良い方が観光客の集客に役立つ ことは、言うまでもない。
	長門市/農業団体	・センザキッチン、青海島など 長門の代表的な観光拠点への誘導も重要 である。

3. 第2回意見聴取の結果

6) 関係機関ヒアリング結果（ルート帯検討時に特に重視すべき項目：自由意見②）

分野	分類	主な意見
救急医療支援	長門市/観光業	・ 地方の救急医療は人の生死に関わる問題であり、 安定搬送が出来ること が望ましい。
	長門市/消防署	・ 高度・専門的な医療のため、医療圏をまたがった救急搬送を行う場合に、 安全で速やかに搬送できる道路が重要 になります。
	トラック協会	・ 三隅・長門地域は、将来的に人口減少による 高齢化率が高くなることから、救急医療の必要性が高くなる 。
交通事故	長門市/漁業団体	・ 俵山道路のような 中央分離帯で仕切られている道路は、安心して運転が出来る 。萩道路の対面通行ははみだしてきそうで怖い。
	長門市/バス会社	・ 道路整備において、この地域は有害鳥獣、特に鹿が多く見られます。 道路に侵入しないような対策として、安全で走りやすい道路整備、また、人間が高齢化で侵入しにくい道路整備 。
	長門市/消防署	・ 自動車専用道路上での事故発生時や自動車専用道路を使用した 救急搬送には、市街地から速やかにアクセスできるICの位置や迂回進入路等が重要 です。
災害	長門市/消防署	・ 災害時の受援体制を確保するためには、応援機関が安全かつ速やかに集結でき 、自然災害の影響が少ない道路が重要だと考えます。
	長門市/医療施設	・ 地震、自然災害などの頻度は増している 。高齢者の多い地域でもあり重要性は高い。
生活環境	長門市/医療施設	・ 日常生活への影響を最小限 にしてもらおうと良いと思います。
家屋移転	長門市/医療施設	・ 家屋移転がスムーズにできなければ工事が遅れ、計画が達成困難 となり、本来の目的が実現できなくなるのでは。
工事	長門市/医療施設	・ 市街地が工事区域になると、日常の交通に悪影響 を及ぼし、救急医療の障害になる。
	長門市/漁業団体	・ 工事による通行止めなど生活への影響を抑える。 ・ 工事による 造成などで豪雨による土砂災害などに配慮 。 ・ 山が削られてのり面の高い道路となった場合、 のり面が後々草木に覆われないような対策 。
	長門市/主要企業	・ 無駄に工期が長くなって、普段の業務に支障 が出ること。
建設費用	長門市/バス会社	・ 必要以上に費用がかかるのは望ましくない 。
その他	トラック協会	・ 東西方向の効率化だけでなく、将来的に 山陰道が全線開通するに至った場合も見据えて、山陽側へのアクセスがより効率的に出来るような道路 にすること。
	下関市/観光施設	・ 山陰道の整備により、 ストロー効果等によるマイナス面での効果を懸念 している。
	長門市/観光業	・ 新設道路においては、安全ゆとりを主体に極力交差点を少なく すること、何キロに1箇所の停車帯を設置し、 車を止めて携帯電話等が出来る道路が望ましい 。

3. 第2回意見聴取の結果

7) 自治体ヒアリング結果

○自治体からは、「産業の活性化」や「観光振興」、「救急医療の速達性・確実性の確保」、「中間IC設置」などに関する意見が寄せられている。

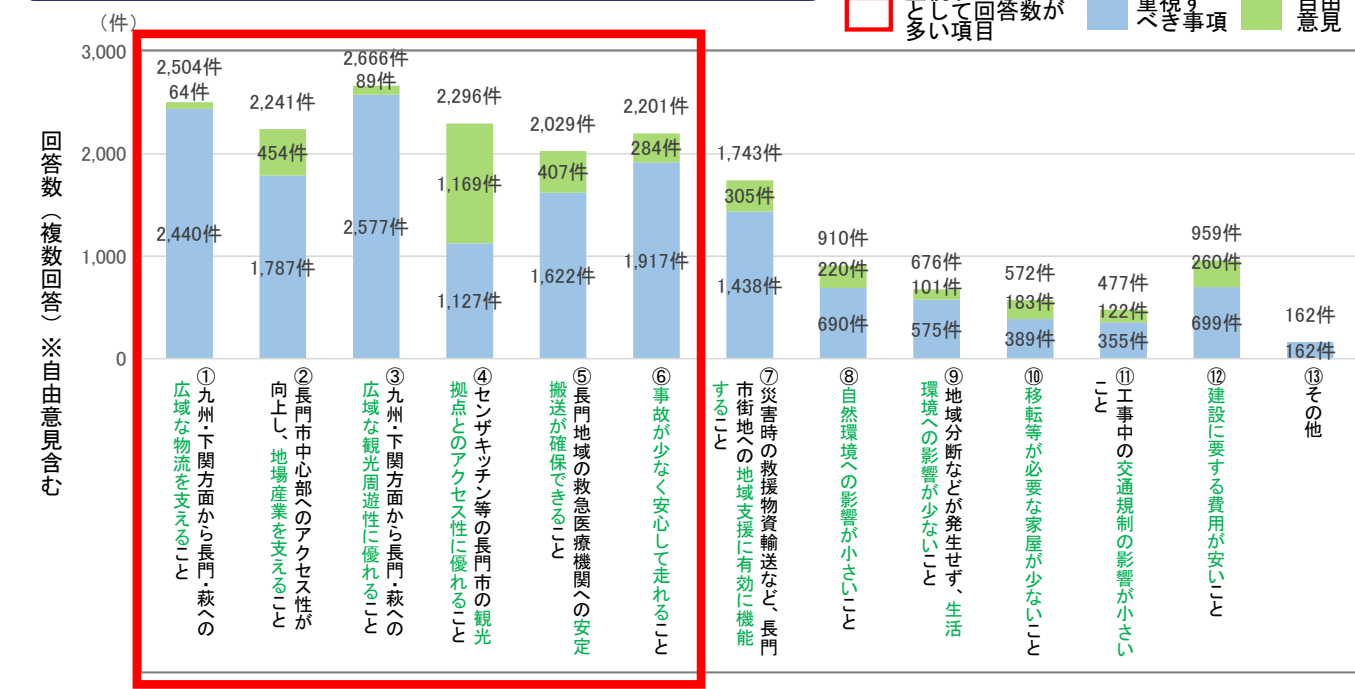
自治体	主な意見
山口県	・本県は、本州と九州をつなぐ交通の要衝となっており、山陰地域における道路ネットワークのさらなる充実が、地場産業の発展のみならず新規企業の立地において重要な要素となっている。 ・長門・萩エリアは県内でも著名な観光施設等が多いため、九州をはじめとした県外、又は下関などの県内からの観光周遊性が高くなることは、本県の観光消費額拡大にとって非常に大きなメリットになると考える。 ・旅行会社を招聘したファムツアー（海外の旅行関係者や旅行メディア、人気インフルエンサーなどを招待した上で実施する視察ツアー）においても、特にセンザキッチンは、食材の魅力、施設としての景観など非常に高い評価を得ており、アクセスの面でより改善されれば、さらなる誘客が見込め、本県観光消費額の拡大が期待できる。 ・高規格道路は、災害時の際の基盤施設として重要であり、住民目線で重視すべき事項として欠かせないと思う。
長門市	・産地市場である仙崎市場で水揚げされた新鮮な魚介類を、ストレスを与えないよう市外・県外の消費地に届けるため、仙崎市場からのスムーズな輸送が重要。 ・仙崎地区に観光拠点施設「道の駅センザキッチン」を設置し、長門市全域への「市外・県外から交流人口拡大と外貨獲得」、「長門の魅力拡大と域内消費の拡大」の取組を進めている。 ・市内に三か所ある二次救急医療へのアクセス性の確保が重要。 ・山陰道の開通を見据え、「都市計画マスタープラン」の重点施策として、仙崎地区については広域的な都市機能の集積と魅力ある観光資源とが一体となって、多くの市民や観光客などにとって快適で魅力ある地域づくりを目指すこととしている。 ・文化・歴史的資源を最大限に活用したまちなみ整備も、山陰道の整備に合わせ加速させていくこととしている。 ・仙崎地区に観光拠点施設「道の駅センザキッチン」を設置し、長門市全域への「市外・県外から交流人口拡大と外貨獲得」、「長門の魅力拡大と域内消費の拡大」の取組、高速バスターミナルの整備を計画しており、その利用を見据えた中間ICの設置を望む。

3. 第2回意見聴取の結果

8) まとめ

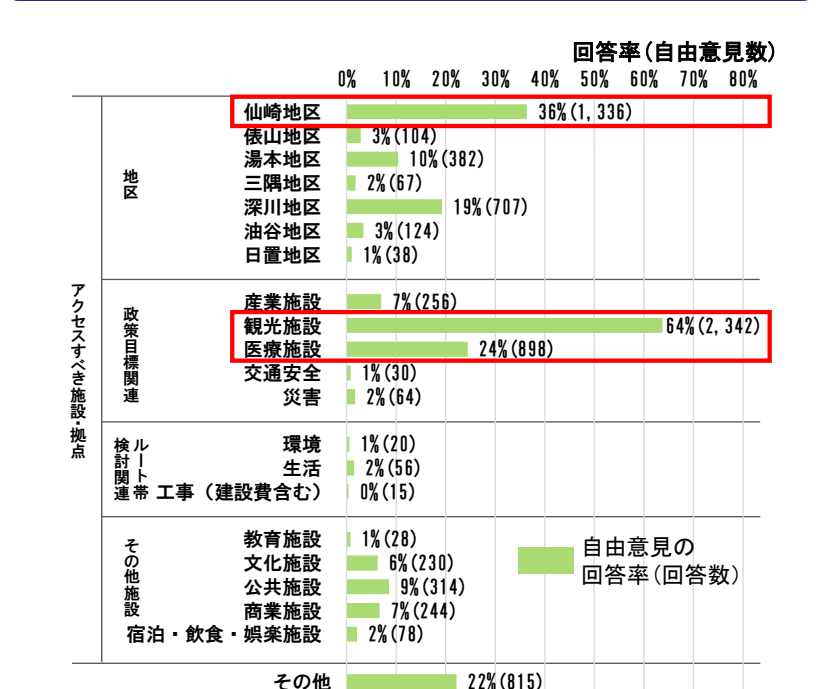
- 特に重視すべきと思われる項目への質問に対しては、「③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性」が最も多く、次いで「①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流支援」「④センザキッチン等の長門市の観光拠点とのアクセス性」「②長門市中心部へのアクセス性」「⑥事故が少なく安心して走れること」「⑤長門地域の救急医療機関への安定搬送の確保」という声が多い。
- 自由意見における、アクセスすべき施設・拠点に対しては、「仙崎地区」や「観光施設」に関する意見が多く寄せられている。
- 自治体からは、「産業振興支援」「観光振興支援」「医療支援」「地域づくり」等に関する意見が寄せられている。

特に重視すべきと思われる項目の回答数(質問1)



重視すべき項目として回答数が多い項目 (Red box)
重視すべき事項 (Blue)
自由意見 (Green)

アクセスすべき施設・拠点の回答率(自由意見:質問2)



※意見数 (アンケート回答者数6,256人の内、質問1の回収者数5,722人/延べ合計意見数15,778件:1人あたり最大意見数3件の回答であるため5,722人と一致しない)
※意見数 (アンケート回答者数6,256人の内、質問1の自由意見回収者数2,318人/延べ合計意見数3,658件 ※⑬その他に対する自由意見除く)
※アンケート回答者数6,256人の内、質問2の回答者数3,673人に対する割合
延べ合計意見数8,148件::自由意見数は複数意見であるため3,673人と一致しない

自治体の主な意見 (ヒアリング)

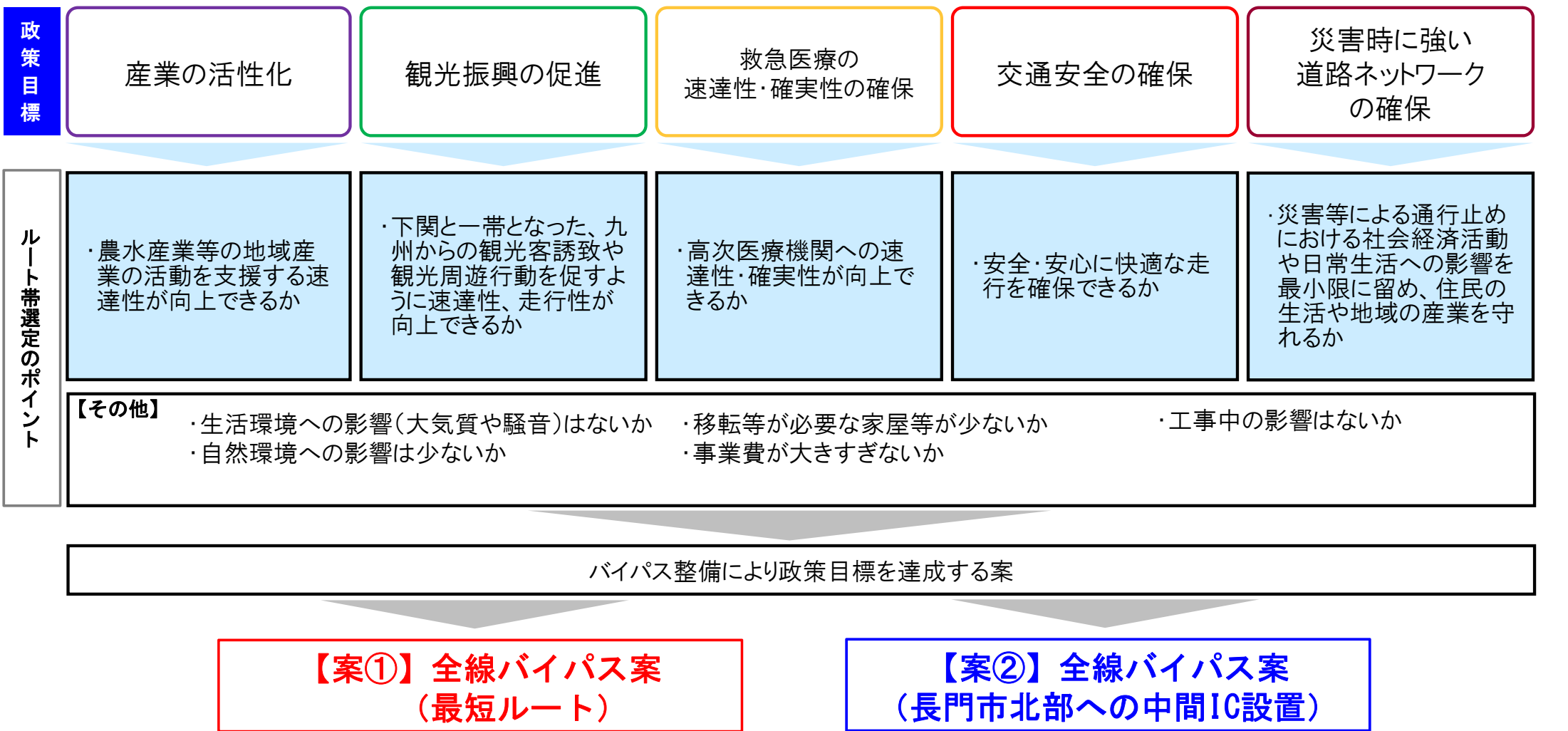
産業振興の支援	・仙崎市場で水揚げされた新鮮な魚介類を、ストレスを与えないよう市外・県外の消費地に届けるため、スムーズな輸送が重要。【長門市】
観光振興の支援	・仙崎地区に観光拠点施設「道の駅センザキッチン」を設置し、市外・県外から交流人口拡大、域内消費の拡大の取組を進めている。【長門市】
救急医療の支援	・市内に三か所ある二次救急医療へのアクセス性の確保が重要。【長門市】
災害時の代替路	・高規格道路は、有事の際の基盤施設として重要であり、住民目線で重視すべき事項として欠かせないとする。【山口県】
地域づくり	・文化・歴史的資源を最大限に活用したまちなみ整備も、山陰道の整備に合わせ加速させていくこととしている。【長門市】

4. 対応方針（案）の検討

4. 対応方針（案）の検討

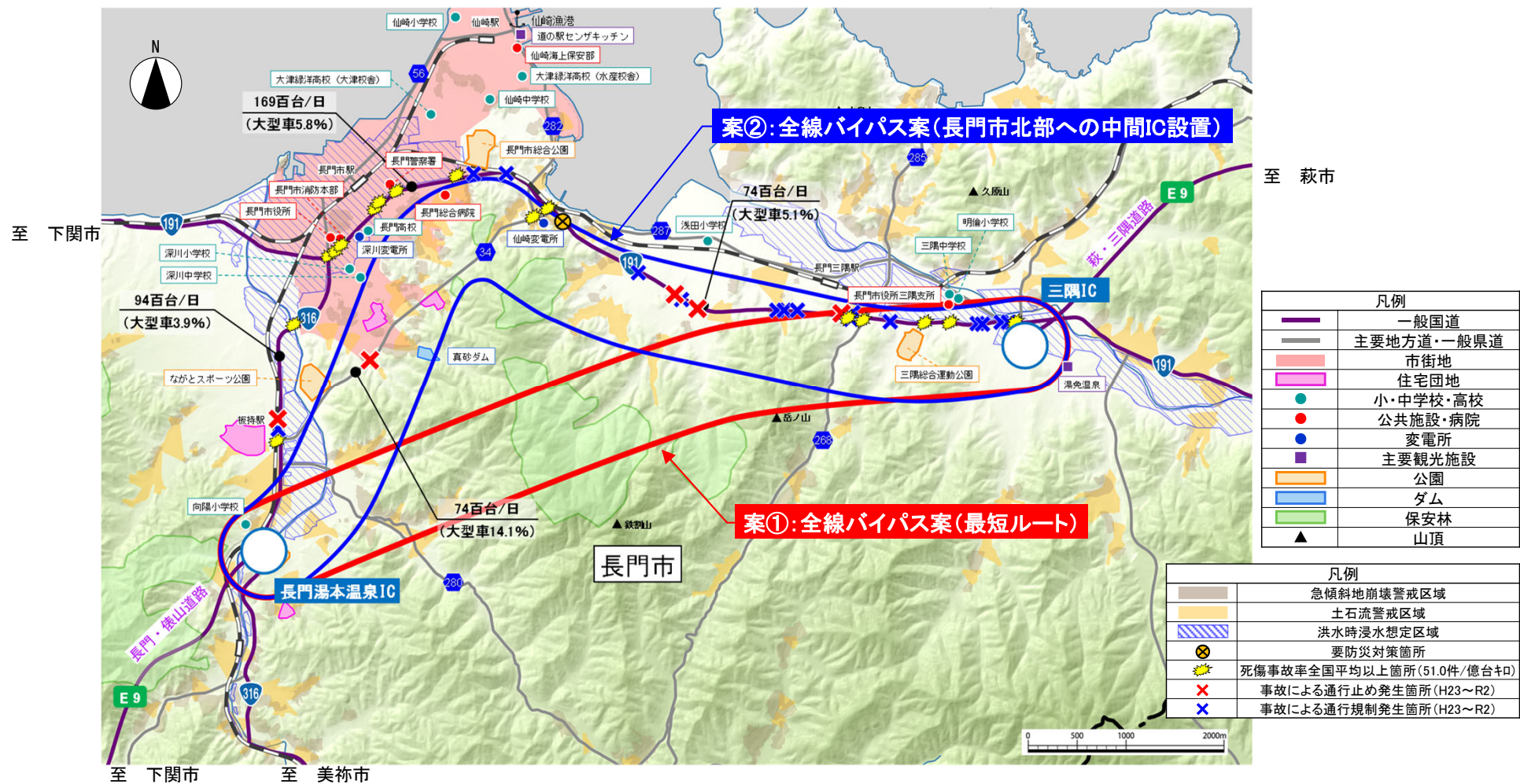
1）対応方針（ルート帯案）の考え方

- 第1回意見聴取で地域の課題や政策目標などについて確認したことから、コントロールポイントなどを踏まえてルート帯案を設定する。
- 東西区間が既にバイパスで整備されており、ネットワーク化することにより効果的に政策目標を達成するバイパス案について検討する。
- 設定したルート帯案が各政策目標にどのように資するのかなどを整理し、第2回意見聴取で地域がより重視する政策目標を設定することで、地域のニーズを十分に踏まえたものであるかを確認する。



4. 対応方針（案）の検討

2）ルート帯（案）の概要



【特徴】○新設による別線整備により、政策目標の達成等を考慮し、以下の案を検討する。

○：【案①】全線バイパス案（最短ルート）

○：【案②】全線バイパス案
（長門市北部への中間IC設置）

- 対象区間を可能な限り最短ルートで結び、現道課題の解消を図り、通過交通等の速達性に最も優れる。
- 中間ICを設置することにより、物流拠点施設及び観光拠点へのアクセス性、医療関係施設への安定搬送に優れる。
- 別線整備で現道課題の解消を図る。

4. 対応方針（案）の検討
3）ルート帯案の比較・評価（総合評価）

評価項目	番号	評価のポイント	【案①】全線バイパス案 （最短ルート）		【案②】全線バイパス案 （長門市北部への中間IC設置）	
			延長約8km 設計速度80km/h 【自動車専用道路】		延長約10km 設計速度80km/h 【自動車専用道路】	
道路整備による効果・改善点	産業の活性化	①九州・下関方面から長門・萩への広域な物流を支える道路（下関市～萩地方卸売市場の広域物流の速達性）	○	下関市から萩地方卸売市場への速達性が向上（現況に比べ萩地方卸売市場まで約11分短縮）	○	下関市から萩地方卸売市場への速達性が向上（現況に比べ萩地方卸売市場まで約10分短縮）
		②長門市中心部に位置する農水産加工品の生産拠点等とのアクセス性に優れ、地場産業を支える道路（下関市～仙崎漁港へのアクセス性）	×	中間ICがないため、下関市から仙崎漁港へのアクセス性は向上しない（現況に比べ短縮しない）	○	長門市北部への中間ICを設置するため、下関市から仙崎漁港へのアクセス性が向上（現況に比べ約7分短縮。信号交差点12箇所回避）
	観光振興の促進	③九州・下関方面から長門・萩への広域な観光周遊性に優れる道路（下関市～観光拠点（萩市）の広域観光周遊の速達性）	○	下関市から観光拠点（萩市）への速達性が向上（現況に比べ約11分短縮）	○	下関市から観光拠点（萩市）への速達性が向上（現況に比べ約10分短縮）
		④長門市の観光拠点（仙崎）とのアクセス性に優れる道路（下関市～観光拠点（仙崎）へのアクセス性）	×	中間ICがないため、観光拠点（仙崎）へのアクセス性は向上しない（現況に比べ短縮しない）	○	長門市北部への中間ICを設置するため、観光拠点（仙崎）へのアクセス性が向上（現況に比べ約7分短縮。信号交差点12箇所回避）
	救急医療の速達性・確実性の確保	⑤長門地域の医療拠点への速達性・確実性が確保できる道路（救急医療機関が立地する長門市中心部への安定搬送）	×	中間ICがないため、長門市中心部への代替路とならず、救急医療機関への安定搬送が確保されない	○	長門市北部への中間ICを設置するため、長門市中心部への代替路として機能し、救急医療機関への安定搬送が確保
	交通安全の確保	⑥事故が少なく安心して走れる道路	○	バイパス整備により通過交通が転換し、安全性が向上（死傷事故率全国平均以上の箇所を16箇所回避）	○	バイパス整備により通過交通が転換し、安全性が向上（死傷事故率全国平均以上の箇所を16箇所回避）
	災害時に強い道路ネットワークの確保	⑦災害時の救援物資輸送など地域支援に有効に機能する道路	×	中間ICがないため、長門市街地への代替路としては機能しない	○	長門市北部への中間ICを設置するため、長門市街地への代替路として機能
配慮すべき点	環境への影響	⑧自然環境への影響	△	重要な自然環境を概ね回避するため、自然環境への影響は小さい	△	重要な自然環境を概ね回避するため、自然環境への影響は小さい
	生活への影響	⑨生活環境への影響（地域分断）	○	山側に回避することで地域分断は発生しない	○	山側に回避することで地域分断は発生しない
		⑩移転等が必要な家屋	○	少ない	×	多い
	工事の影響	⑪工事中の交通規制の影響	△	新設での道路整備となるため、工事中の現道における交通規制の影響が少ない	△	新設での道路整備となるため、工事中の現道における交通規制の影響が少ない
	建設費	⑫建設に要する費用	○	約450～500億円	△	約500～550億円

○：改善／影響がない △：一部改善／少なからず影響が出る／他案に比べ多少劣る ×：課題が残存又は他案に比べ大きく劣る／影響が大きい

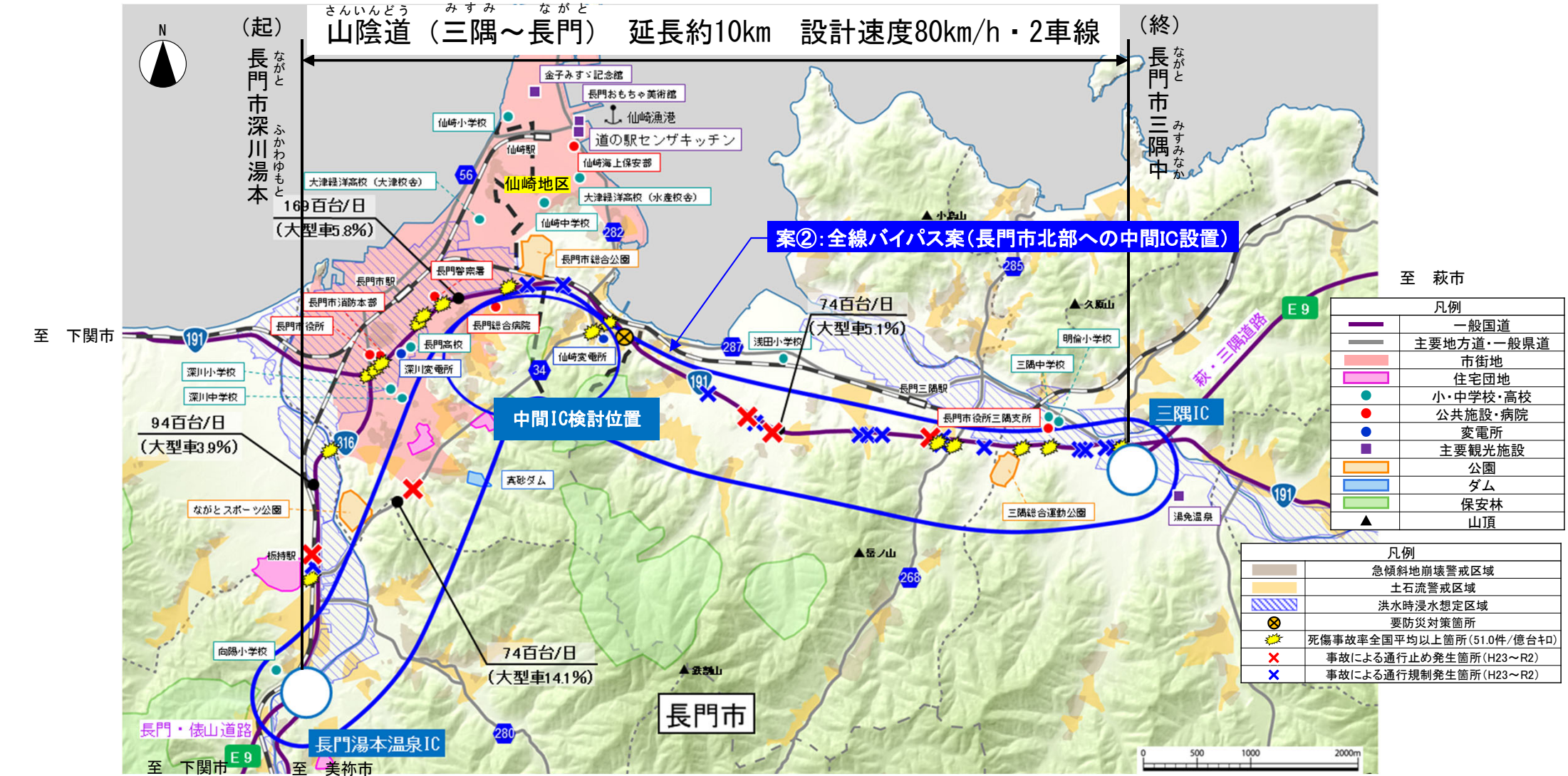
アンケート調査及びヒアリング調査により重視すべき事項

比較評価の結果、対応方針（原案）については、すべての政策目標の達成が概ね見込め、かつ地域が望む重視項目や配慮すべき項目に適切に対応可能な【案②】全線バイパス（長門市北部への中間IC設置）を対応方針（原案）とする。

4. 対応方針（案）の検討

4）対応方針案（原案）

○全ての政策目標の達成が見込め、地域ニーズの高い「産業の活性化」、「産業振興の促進」「交通安全の確保」などにおいて優れた効果が期待され、総合的に優れた【案②：全線バイパス案（長門市北部への中間IC設置）】を対応方針（原案）とする。



【計画ルートの考え方】

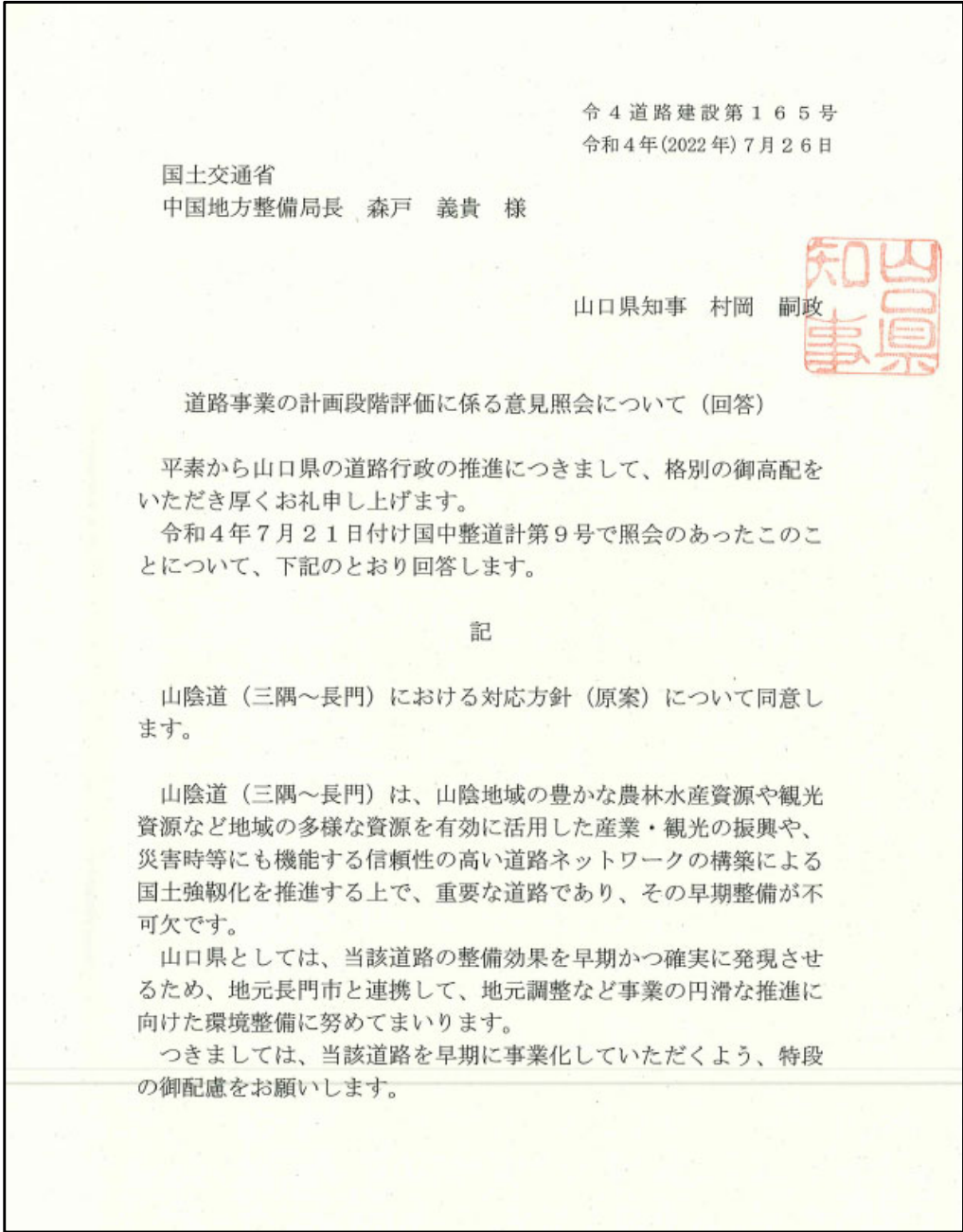
国道191号・316号の災害や事故などの現道課題を回避し、観光拠点のアクセスおよび広域物流や救急医療の速達性・確実性を考慮した、現道と完全に異なる道路ネットワーク（長門市北部への中間IC設置）となるルート

5. 自治体への意見照会結果

5. 自治体への意見照会結果
1) 自治体への意見照会〔対応方針（案）に対する意見〕

山口県

意見
山陰道(三隅～長門)における対応方針(原案)について同意します。 山陰道(三隅～長門)は、山陰地域の豊かな農林水産資源や観光資源など地域の多様な資源を有効に活用した産業・観光の振興や、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築による国土強靱化を推進する上で、重要な道路であり、その早期整備が不可欠です。 山口県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元長門市と連携して、地元調整など事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めてまいります。 つきましては、当該道路を早期に事業化していただくよう、特段の御配慮をお願いします。



6. 対応方針（案）のまとめ

6. 対応方針（案）のまとめ

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を達成できる道路整備を検討

【政策目標】

- ①産業の活性化
- ②観光振興の促進
- ③救急医療機関への速達性、確実性の確保
- ④交通安全の確保
- ⑤災害に強い道路ネットワークの確保



- 評価区間付近には、第2次救急医療機関、観光拠点（仙崎）や農水産加工品の産業拠点が、各拠点へのアクセス向上や速達性向上が課題となっている。
- 国道191号、国道316号では、死傷事故率が全国平均以上の箇所及び土砂災害警戒区域、洪水時浸水想定区域が存在しており防災上脆弱な箇所が集中するため、災害時等の救急活動に支障をきたす。
- 住民、事業所、道路利用者及び自治体などからは産業・観光振興、救急医療の支援のため、長門市中心部へのアクセス性が高い道路が望まれている。

2. 対応方針（案）

ルート帯について、【案②：全線バイパス案（長門市北部への中間IC設置）】を対策方針（案）とする。

【理由】

- 【案②：全線バイパス案（長門市北部への中間IC設置）】は、【案①】に比べ全ての政策目標の達成が見込める。
- 意見聴取結果においては、「①九州・下関方面から長門・萩への広域な流通を支えること」「②長門市中心部へのアクセス性が向上し、地場産業を支えること」「③九州・下関方面から長門・萩への広域的な観光周遊性に優れること」「④センザキッチン等の長門市の観光拠点とのアクセス性に優れること」「⑤長門地域の救急医療機関への安定搬送が確保できること」「⑥事故が少なく安心して走れること」を重視する意見及び「センザキッチン等の仙崎地区へのアクセス」を希望する声が多く挙げられており 【案②：全線バイパス案（長門市北部への中間IC設置）】は、地域のニーズにも応えられる。
- 【案②】は地域の将来ビジョンや地域連携の取り組みである、安心安全確保、観光振興、地域産業の活性化などについても支援でき、全ての政策目標の達成が見込め、災害等発生時の代替路の確保やアクセス性、速達性や信頼性・安全性の高い道路ネットワークを確保することができるなど、総合的に優れている。

3. その他

- ・具体の道路構造等の検討に際し、景観への影響、自然環境への影響、家屋の移転、工事中の影響、事業費・維持管理費のコスト縮減等にも配慮する。
- ・また、バイパス整備後に現道に残存する課題について、地元自治体と一体となって交通状況の変化等を勘案しながら必要な対応に努める。

6. 対応方針（案）のまとめ

4. ルート帯

